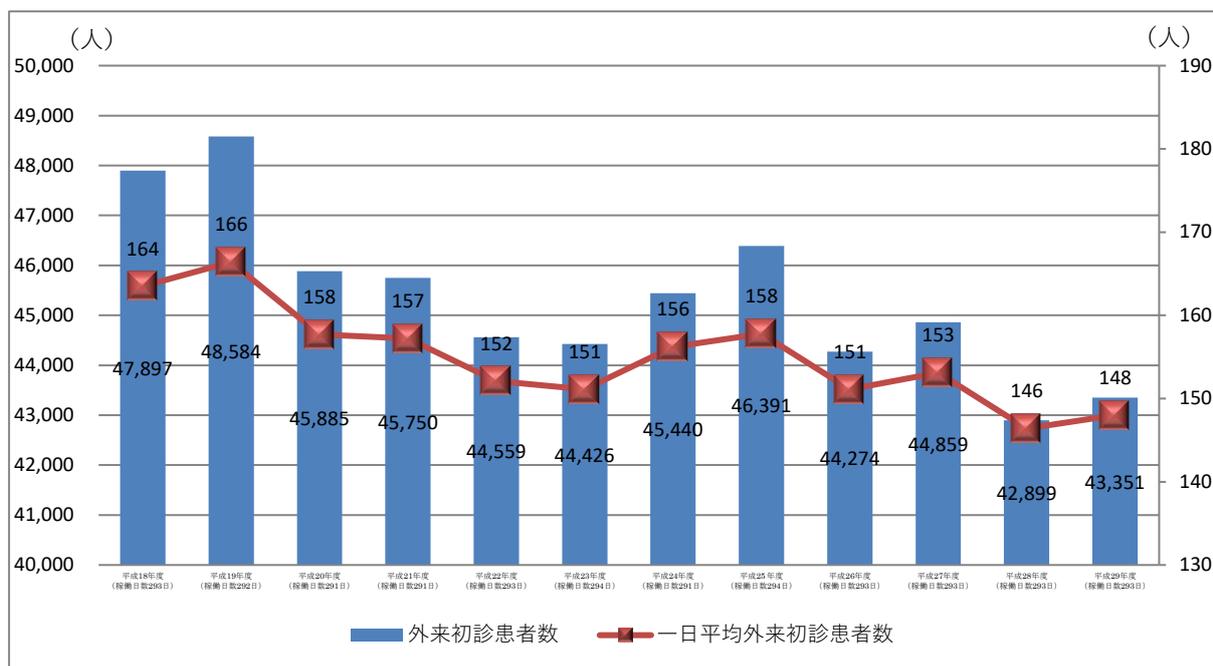


## 2.3. 外来初診患者数



平成 29 年度の初診患者数は、前年度と比較し微増した結果となり、厚労省が示す「病病連携・病診連携・病介連携」について、大病院の外来は紹介患者を中心とし、かかりつけ医機能を有する医療機関では一般的な外来受診に対応するという、外来の機能分化の推進が段階的に進められてきた結果と考える。

今後は、「地域包括ケアシステムの構築と医療機能の分化・強化、連携の推進」を重点課題に位置付けされており、「必要に応じて介護サービスと連携・協働する」等、切れ目のない医療・介護提供体制が確保されることを実現するため、一層 医療機能の分化・強化、連携を進める。

データ提供 医療事務部外来医事課